

みどりの丘

文責 二本松市立新殿小学校長 高松宏光

二学期の目標

二学期初日、30名全員が元気に登校してくれました。子どもたちの姿が見え、声が学校にあふれていること、本当に嬉しく思います。25日(金)には、3人の代表児童による二学期の目標の発表がありましたのでご紹介します。

【1年：佐藤さん「がんばりたい たくさんのこと」】

ていねいにじをかきたいです。せんせいのおはなしをしっかりとききたいです。たくさんえほんをよみたい。だから、としょじつにたくさんいきたいです。

【3年：菊地さん「二学期の三つのめあて」】

一つ目はローマ字が始まるので、おぼえらえるようにいっぱい練習します。二つ目はロードレースで1位になれるように、朝いっぱい走ることです。三つ目は早寝早起きをすることです。朝早起きするのが苦手なので、起きれるようにがんばります。

【5年：安齋さん「二学期にがんばりたい三つのこと」】

一つ目は勉強です。算数や道徳をがんばりたいです。意見や自分の気持ちを発表したいです。二つ目は運動です。短距離を速くしたいです。三つ目はお手伝いです。皿洗い、お風呂洗いをしたいです。

他の子どもたちも、一人一人新たなめあて・目標を立てました。子どもたちにとって充実した二学期になるよう、教職員一丸になって頑張っていきます。

再スタートはいかがですか!?

前号で、学期の始まりという「再スタート」の重要性についてお伝えしましたが、子どもたちの学習習慣・生活習慣は、うまく軌道にのったでしょうか。学校が始まって

今週で2週になります。宿題に取り組む時間や家での手伝い、ゲームやテレビの時間、起床・就寝時刻…、ご家庭でのきまりも含め、再度お子さんと確認し、必要に応じて声をかけてあげてください。もちろん、守れているなら、しっかり取り組んでいる姿をたくさん褒めてあげてください。こうした「やるべきことをきちんとやる」という力は、【非認知能力】の育成につながり、極めて重要です。詳しくは裏面をご覧ください!



奉仕作業、ありがとうございました

27日(日)第3回の奉仕作業、お世話になりました。保護者、地域の皆様に、早朝よりご協力頂いていることに心から感謝申し上げます。また、24日(木)早朝より道の駅の安齋さんが校庭を、25日(金)夕方には、やまびこ会の佐藤さんが校庭手前の土手下を、26日(土)には地域の菊地さん他数名の方が校舎回りの作業してくださいました。皆様に感謝です！



【 ビフォー 】



【 アフター 】

「非認知能力」の大切さ

先日、「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。個々の結果をじっくり分析していくことが重要です。早速、結果を全教職員で共有し、子ども達の力がより発揮できるように話し合いを進めています。

さて、保護者の皆さんは、「非認知能力」という言葉を耳にしたことがありますか。これは物事に対する考え方、取り組む姿勢、行動など、日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力のことをいいます。学習の理解を高めていくうえでも、この力が重要であるといわれます。具体的には以下のようなものが挙げられます。

- 「**自制心**」:自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力
例:イライラしても人に八つ当たりしない
- 「**自己効力感**」:自分はそれが実行できるという期待や自信
例:難しい問題でも自分ならできると考えられる
- 「**勤勉性**」:やるべきことをきちんとやる力
例:宿題が出されたらきちんと終わらせる
- 「**やりぬく力**」:自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力
例:失敗を乗り越えられる



【福島県教育委員会ホームページ ふくしま学力調査より】

具体例の4つを見ると、学習面に限らず、「生きる力」として必要であることが分かります。学校と家庭の両輪で、子どもたちに意識させていきたいものです。子どもたちの自我が形成されていくこの小学生の時期に、我々大人がしっかり育ませていきましょう。

自転車ヘルメット(安全確認マーク付き)の着用を

令和5年4月1日からすべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用努力義務が課されました。文部科学省から、安全が確認されたマーク表示がない乗用ヘルメットについては、衝撃吸収性を満たしていないなど、安全性能が劣っている恐れがあるため、安全が確認されたマーク表示があるものを使用することが推奨されていることを周知する旨の文書が届きました。

私の教え子でも、自転車を利用中、十字路を左折する大型車両に巻き込まれるとう痛ましい事故がありました。病院に駆けつけ、お母さんと治療を終えるのを待っていると、車椅子にさせられてその子が出てきました。その時の痛々しい傷跡や顔面蒼白の表情は今でも記憶に残っています…。その子はしっかりヘルメットをかぶっていましたが、もしかかぶっていなかったら、命に関わる大事故でした。

何より大切なお子さんの命を守るため、ヘルメットの着用、正しいかぶり方のご指導をお願いします。(別紙配付した国民生活センター資料をご確認下さい。)

